



市区町村の危機管理監級を主な対象とした水害対応研修を実施

～水害に対する危機管理能力の向上～ 【集合研修】

令和元年東日本台風など、近年大規模な水害が多発しており、流域全体の災害対応能力の向上が喫緊の課題となっております。

そこで、市区町村の危機管理監級を主な対象とした「水害に対する危機管理能力向上研修（標準コース）」（以下、標準コース）を実施し、河川情報の理解促進や他事例の教訓等の講義により水害への対応能力向上を図ります。

また、災害対応演習では、災害対応プロセスの認識を深める課題研究を実施し、災害の初動において必要な知識を体系的に学ぶことにより、災害対応業務への理解が一層深まります。

■研修内容

- ①河川管理者が発する情報の意味の理解
- ②ソフト・ハード対策の取組、他事例の教訓の理解
- ③演習による対応能力の向上

■対象者（定員 35 名）《標準コース》

- ①市区町村の危機管理監等、水害時に市区町村長を直接補佐する職員
- ②地方整備局課長またはこれと同等の職にあると認められる者

■研修期間・場所・経費

期間：令和5年11月28日（火）～12月1日（金）4日間
場所：国土交通大学校
※11月28日（火）は砂防会館で実施されるトップフォーラムを国土交通大学校からオンラインで聴講
経費：テキスト代等（送料込み・予定）20,000円

■募集期間 令和5年8月31日（木）まで

■研修風景（集合研修）



昨年度の研修参加者の声（概要）

- 災害経験がどちらかというと少ない本町にとって、初動や発災後の対応など、他市町村の経験及び災害対応がとても参考になった。（町職員）
- 演習や意見交換を通じて当市の立ち位置（進んでいる、遅れている等）がわかった。（市職員）
- 発災時の対応、防災、水防関係、災害復旧等貴重な話が聞けた。（村職員）

問い合わせ先：

国土交通大学校 建設部
建設企画科 科長 赤道

直通：042-321-0645

Mail：col-kensetsu@gxb.mlit.go.jp

募集状況については、国土交通大学校ホームページにも掲載しておりますので、ご覧下さい。（<http://www.col.mlit.go.jp/>）